

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 6 年度 第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	花咲く海の町「上関」再エネ活用先導モデルの実現可能性調査
補助事業者名	上関町
補助事業の概要	本町が目指す将来像の実現のため、主要な公共施設における再エネ導入プロジェクトを検討した。先導モデルに選ばれた室津地区の 3 施設（鳩子の湯、総合文化センター、道の駅）における再エネ導入実現可能性調査を実施するとともに、3 施設のうち 1 施設（鳩子の湯）において、設備導入に向けた実施設計を行った。また、本町のように狭隘な場所における更なる再エネ導入を図るため最新技術を活用した再エネ導入方策を検討した。
総事業費	14,850,000 円
補助金充当額	14,850,000 円
定量的目標	本調査事業によって明らかになる各拠点の需要量と再生可能エネルギー供給力に基づいて、設備導入の可能性を検証し、定住促進、地域に根差した産業振興、安定した雇用の創出、町民の安心・安全に資する再エネ活用プロジェクトを立案する。 1. 再エネ活用先導モデルの実現可能性調査 ・令和 7 年度における再エネ設備導入を目指した再エネ活用プロジェクトの具体化 2. 再エネの新たな利活用策の検討 新しいエネルギーの使い方・再エネ活用プロジェクト ・本町のような狭隘な場所における更なる再エネ導入を図るための最新技術を活用した再エネ導入方策
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	室津地区の主要 3 施設（鳩子の湯、総合文化センター、道の駅）における再エネ設備導入を具体化するため、建物の構造確認を行うとともに、自家消費量、電気料金額減額、年間電気使用量に対する太陽光発電の割合、PR 効果を比較し、最も評価の高い「鳩子の湯」について太陽光発電設備の実実施設計を行った。また、上関町が目指す再エネ利用の将来像に向けた準備として、更なる再エネ導入を図るため、ヒアリング・検討の結果、栽培漁業センターを新たな候補施設として横展開施設に位置付けた。 1. 再エネ活用先導モデルの実現可能性調査 ・対象施設スクリーニング（対象 3 施設の構造確認） ・実施設計の対象施設を選定（1 施設） ・太陽光発電等の実施設計（1 施設） ・概算事業費の算出、施設導入効果・事業収支計画検討

	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者ヒアリング（概算事業費の確認、機器調達可否の確認） ・関係機関協議（一般送配電事業者、消防等） <p>2. 再エネの新たな利活用策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再エネに係る最新技術動調査（次世代型太陽光電池等） ・再エネ利活用策の再検討（ロードマップ改訂を含む） ・個別ヒアリング（町内事業者、関係団体等） ・関係機関協議（実施回数2回） 	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約	契約の目的	主要3施設における再エネ設備導入を具体化するため、建物の構造確認や実施設計を行う。
	契約の方法	公募型プロポーザルによる随意契約
	契約の相手方	国際航業株式会社
	契約金額	14,850,000円
来年度以降の事業見通し	令和7年度は、令和6年度の調査結果を踏まえてより効果的な再エネ導入を目的として、残り2施設（総合文化センター、道の駅）の実施設計及び横展開候補の1施設（栽培漁業センター）における基本計画を行い、令和8年度における太陽光発電設備の導入を目指す。	

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。